

CONTENTS

第1章 証券化概論

第1節	証券化とは	2
第2節	証券化の特徴と意義	4
第3節	証券化の当事者とメリット	5

第2章 証券化の歴史と現状

第1節	証券化の歴史	8
第2節	我が国における証券化の歴史	10
第3節	我が国における証券化市場の現状	12

第3章 海外における証券化市場の動向

第1節	米国・欧州における証券化市場の動向	18
第2節	韓国における証券化市場の動向	26
第3節	中国における証券化市場の動向	28

第4章 証券化における主要な法的論点

第1節	倒産隔離	32
第2節	真正譲渡	34
第3節	証券化ビークル①—法人	36
第4節	証券化ビークル②—信託	40
第5節	債権譲渡	46
第6節	証券化における表明保証・コベナンツ	48
第7節	サービシング	50
第8節	関係当事者の倒産	52
第9節	担保法改正	54

第5章 証券化に関連する規制

第1節	証券化スキームと金融商品取引法の関係	58
第2節	金融商品取引法に基づく開示規制	60
第3節	金融商品取引法に基づく業規制	62
第4節	金融商品取引法に基づく行為規制・金融サービス提供法に基づく説明義務	64
第5節	デリバティブ取引に対する規制	68
第6節	デジタル証券化商品	72
第7節	信託銀行・信託会社に対する規制	74
第8節	信用格付業者に対する規制・信用格付の利用に関する規制	76
第9節	近年の国際金融規制の動向	78
第10節	証券化ビークルの国際税務コンプライアンス	80

第6章 証券化に係る会計・税務

第1節	金銭債権のオフバランスの要件・会計税務処理	84
第2節	ビークルの連結の取扱い	86
第3節	金融商品の課税関係（法人に係る利子、配当所得の課税関係を中心に）	88
第4節	ビークル別の課税関係（信託とTMKの課税関係）	90
第5節	債権流動化における劣後受益権の会計・税務上の取扱い	94
第6節	IFRSの動向	96

第7章 主な証券化商品の解説

第1節	金銭債権ABS	100
第2節	ABCPプログラム	103
第3節	RMBS	106
第4節	CDO	110
第5節	クレジットリンク商品	112
第6節	カバードボンド	114
第7節	証券化における信託の利用	116
第8節	ESGと証券化商品	118
第9節	Web3と証券化商品	120
第10節	その他①（事業の証券化、プロジェクト・ファイナンス）	122
第11節	その他②（証券化以外の仕組み性のある商品（REIT））	124
第12節	海外の証券化商品①（米国CLO）	126
第13節	海外の証券化商品②（リカバリーボンド）	128
	参考文献	131
	索引	133
	執筆者一覧	140